

顎変形症治療特論 (西久保周一)

Advanced Course of Jaw deformity treatment (Shuichi Nishikubo)

キーワード

- ①顎変形症
- ②睡眠
- ③成長発育
- ④診断
- ⑤治療

授業概要

顎変形症において閉塞性睡眠時無呼吸症を発症しやすい骨格形態は2級、開咬症例である。これまでの多くの論文では、上下顎骨の反時計回転により効率的に咽頭気道の拡大ができることがわかっている。一方で、閉塞性睡眠時無呼吸症を発症した上顎劣成長、下顎前突症例では、舌の肥大化などにより治療が難しいとされている。それには、いくつかの補助的な治療や顎矯正手術の術式の工夫が必要である。基礎的研究を含め、これらを理解することを目的として開講する。

授業科目の学修目標

筋機能訓練、および顎矯正手術術式を理解し、具体的に治療計画を立案できるようになる。

授業計画

- ①睡眠時無呼吸症に対する外科療法 5コマ 西久保周一
- ②上下顎骨同時前方移動術およびオトガイ舌筋-オトガイ舌骨筋前方牽引術 5コマ 西久保周一
- ③顎矯正手術の工夫 10コマ 西久保周一
- ④筋機能訓練 10コマ 西久保周一

教科書および参考書

口腔外科学 医歯薬出版、睡眠時無呼吸症候群の診療メソッド—睡眠呼吸障害の集学的治療 中外医学社

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

教科書・参考図書の内容を十分理解すること

大学院生が達成すべき行動目標

- ①閉塞性睡眠時無呼吸症に対する外科療法が説明できる
- ②上下顎同時前方移動術およびオトガイ舌筋-オトガイ舌骨筋牽引術について説明できる。
- ③顎矯正手術の工夫について説明できる。
- ④筋機能訓練について深く理解し、実践できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	0%	0%	0%	60%	40%

評価の要点

- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。2%×30回=60%
- ・その他 学会発表を行う。40%×1回=40%

理想的な達成レベルの目安

総合評価で80%以上の達成を求める。